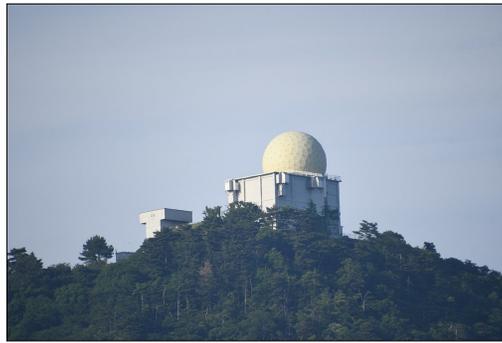


# 島根半島での自衛隊の訓練を市議団が調査

今年7月と10月、自衛隊の訓練が島根半島で行われました。市民に不安を与えないように、関係自治体や地域自治会には通知されていますが、



高尾山分屯基地

市議団は、10月の訓練で空砲とはいえ小銃も使用されたことを重視し、内容の確認を行いました。

7月、米子の陸上自衛隊が美保関町官ノ尾山付近で、武器弾薬は携行せず迷彩服で装備品を担ぎ、徒歩で10時間かけて山地を移動する「山地機動訓練」を行い、20名が参加しました。

また、美保関町高尾山周辺で約100名が参加し、地図の判読、山地機動能力向上のためとして、徒歩による山地の移動訓練が行われました。さらに、10月、美保関町森山

の高尾山分屯基地で、高機動車、軽装甲車などの車両、小銃用の空砲や発煙などの火工品も使用した訓練が行われました。その他災害時を想定した移動通信訓練も美保関灯台や多古鼻で行われています。

市議団の確認を通して、通常の訓練の範囲であり、最近の国際状況等を反映したエスカレートした内容ではないことが確認できました。

紛争の平和的解決こそが重要であり、軍事的対応の強化につながる動きがないかどうか、市議団として今後も調査を行います。

# げんき会（党東出雲後援会）が市議選・衆院選に向け活動スタート

15日、げんき会（日本共産党東出雲後援会）が開催され、尾村利成県議、吉儀敬子市議、橋ふみ市議予定候補が、それぞれ挨拶しました。



交流を深める皆さん「げんき会」

尾村利成県議は「自助・共助・公助を掲げる菅政権に国政を任せるわけにはいかない。衆議院選挙で審判を下そう。比例中国ブロックでの大平よしのぶ当選と来年4月の市議会議員選挙を視野に入れた後援会活動が求められている」と後援会の役割を強調しました。

橋ふみ予定候補は、少人数学級の署名活動に友人と取組んだこと、地域の子ども会でも市議、県議と共に通学路の改善に取組み、議員の役割を実感した経験などを紹介。候補者活動に取り組み中で寄せられた市民の切実な要求実現めざして頑張る決意を述べました。

# 舟木けんじ市議予定候補がまちかど演説会を開催

舟木けんじ市議予定候補は19日夕方、みしまや上乃木店前で、初めてのとりくみとなるまちかど演説会を開催し30

名が集まりました。

吉儀敬子松江市議からは、「日本共産党の3議席で議案提案権をもち、小中学校普通教室へのエアコン設置を求めている意見書、国の責任による少人数学級を求める意見書の全会一致採択に寄与できた。自分は今回で勇退するが、予定候補の舟木けんじさんに引き継いでもらえるよう皆さんのご支援を」と訴えました。続いてマイクを握った舟木けんじ市議予定候補は、「『どの子にも光のあたる教育を』と願ってとりくんで

# まちかど演説会を開催

た経験を活かし、今度はコロナ危機の中、市民誰にも光のあたる松江市政にしたい」と語りました。

さらに舟木予定候補は、「日本学術会議への人事介入を正当化し、コロナ感染拡大の中『自助』を国民に迫る菅政権を終わらせ、命と暮らし最優先の政治へ転換するため、総選挙での政権交代とその要となる日本共産党へ大きな支援を」と呼びかけ、「今後、市内各所で街角から訴えていきたい」と決意を述べました。

# ざいそう

# 市民と共に歩んで：いまこそ少人数学級実現を



# たちばなふみ

「休み時間うるさすぎてしんどい、どこで休んだらいい？」

下校してきた小学生の我が子がつぶやいた。クラスの人数が18人から35人になったばかりの4月だった。教室はきちんと座って授業を受けるだけではない、子ども達にとっ

て学校が自分ごととなるきつ

「休みの時間うるさすぎてしんどい、どこで休んだらいい？」

下校してきた小学生の我が子がつぶやいた。クラスの人数が18人から35人になったばかりの4月だった。教室はきちんと座って授業を受けるだけではない、子ども達にとっ

かけとなった。図書室は決まった時間しか入れない、階段にいたら危ないよと声をかけられた。我が子は友達と連れだって休憩時間を保健室で過ごした。

コロナ禍で、全国いっせいで休校の後、各地で分散登校による少人数の経験が積み重なった。「子どもの表情がよくわかる」「丁寧に教えられる」教員の声が運動を後押し

した。感染予防の視点からも、いまこそ少人数学級をとの声が国を動かそうとしている。

署名活動に友人と取り組んだ私に、「狭い教室では怪我やけんかが心配」「教育にこそお金をかけてほしい」「先生ふやしてほしい」「知らせてくれてありがとう」と声が寄せられ、皆同じように不安や願いをもっていることを実感した。

大人に問われているのは、声を出せない子どもの人権をどう保障していくかということだと思う。ひとり一人が大切にされる、人間らしく生活できる環境を、子どもたちにプレゼントしよう。



街頭から訴える予定候補 舟木けんじ市議

「『どの子にも光のあたる教育を』と願ってとりくんで